

東京スカイツリー®を舞台にした感動エピソードがショートフィルムに 東京スカイツリー 特別ショートフィルム第2弾 『ソラノネ』完成

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014でプレミア上映

東武タワースカイツリー株式会社と米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(以下SSFF & ASIA)は、東京スカイツリー特別ショートフィルム第2弾『ソラノネ』を共同で製作しました。

『ソラノネ』は、まるで噛み合わない家族が突然起きた出来事に導かれ、辿り着いたスカイツリーの空に家族の在り方を映し出す物語。主演として川島海荷さん(9nine)が大学受験を控える次女役、母親役に鈴木砂羽さん、父親役に近藤芳正さん、長女役に志保さん、長男役に札内幸太さん、祖母役に藤田弓子さんらの6名が演じています。

本作品の製作にあたっては、東京スカイツリーにまつわるエピソードを広く一般から募集。全国から517件の応募があり、千葉県在住の松延 晋(まつのぶ すずむ)さんのエピソードがショートフィルムになりました。監督には湘南乃風のミュージックビデオなどを手掛ける中荻強氏を迎え、笑いあり、涙ありのほっこり心あたたまる作品に仕上がりました。

『ソラノネ』は、SSFF & ASIA 2014内にて6月6日(金)、6月8日(日)、6月10日(火)の計3回で無料上映されます。



■タイトル:『ソラノネ』

■あらすじ

互いに向くのは別方向。個性もバラバラ、まとまりのない家族に突如訪れた非日常。「力を合わせず」立ち向かうその様は、はたから見れば滑稽で本人達はいたって真剣。そして辿り着く空の上で家族が見た「ソラノネ」とは一。

■キャスト:川島海荷、鈴木砂羽、近藤芳正、志保、札内幸太、藤田弓子

■監督:中荻強

■作品ページ:http://www.shortshorts.org/sky_tree

■上映情報(各会場共に無料でご覧いただけます。)

6月6日(金) 13:30~15:20 会場:ラフォーレミュージアム原宿

6月8日(日) 17:10~19:00 会場:ブリリア ショートショート シアター

6月10日(火) 15:00~16:50 会場:ブリリア ショートショート シアター

【本発表に関するお問い合わせ先】

共同PR株式会社 担当:中里(080-1222-3602)・吉田・横山 TEL:03-3571-5238 / FAX:03-3571-5380

e-mail : keisuke.nakazato@kyodo-pr.co.jp

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当:高橋(090-3049-1284) 川村(090-3049-0436)

TEL:03-5474-8201 / FAX:03-5474-8202 e-mail : press@shortshorts.org



川島 海荷(次女役)

2006年女優としてデビュー。2009年日本テレビ「アイシテル～海容～」で、東京ドラマアワード新人賞を受賞。その後、数々のドラマ、映画、CMに出演。近年の出演作品として、TBS「パパドル」、NHK「あつこと僕らが生きた夏」(主演)などがある。2013年7月クールTBSドラマ「ぴんとこな」にヒロインとして出演。11月、初舞台「高校中パニック！小激突！！」(宮藤官九郎さん作・演)にヒロインとして出演。パフォーマンスガールズユニット9nine(ナイン)メンバーとしても活躍中。



鈴木 砂羽(母親役)

文学座の研究所を卒業後、映画『愛の新世界』で主演、日本映画史上初のヘアヌードに挑戦し、一躍注目を集めた。この作品でブルーリボン新人賞、キネマ旬報新人賞、毎日映画コンクールスポニチグランプリ新人賞などを受賞。近年はドラマ、映画にとどまらず、バラエティにも積極的に出演。レギュラーとしてNTV「幸せ！ボンビーガール」、ABC朝日放送「砂羽と可奈子があの町の美味しいギャップ大発見！だけど食堂」。直近のドラマ出演作としてTBS「隠蔽捜査」、NTV「明日ママがいない」などがある。5月末から舞台「BACK STAGE」(作・演出：池田鉄洋)に出演(シアタークリエ他)。



近藤 芳正(父親役)

東京サンシャインボーイズに欠かせぬ客演俳優として脚光を浴び、テレビ、映画、舞台と活躍。あらゆる役に深く踏み込む演技力と表現力に定評がある。2001年に自身がプロデュースする劇団♪ダンダンブエノを立ち上げる。09年からはダンダンブエノから派生したソロ活動として「バンダ・ラ・コンチャン」を始動。舞台プロデューサーとしてダンス、音楽界など舞台外の分野から積極的に人材を招き入れるなど、多角的で挑戦的な創作を展開している。舞台制作の他、若手俳優に対するワークショップを主宰し、後進の指導にも力を注いでいる。



志保(長女役)

1992年10月19日生まれ群馬県出身。2004年より活動を開始。その後、TBS「あいくるしい」でドラマデビューし、EX(テレビ朝日系)「仮面ライダーフォーゼ」、TBS「レジデント～5人の研修医～」、TX(テレビ東京系)「大東京トイボックス」、映画「みなさん、さようなら」等に出演。また、2012年に大胆なカットに挑んだ1st写真集「志保」を発売。最近では様々な役に挑戦し、幅広いジャンルで活躍中。



札内幸太(長男役)

1985年9月29日生まれ。大阪府出身。主な作品は映画、2012年石井岳龍監督「生きてるものはいないのか」、2013年平波亘監督「ウインターズ・レコード」、2014年松井一生監督「ユラメク」。舞台では、2009年アトリエダンカン主催「鴨川ホルモー」(鄭義信演出)、2011年パルコ・プロデュース「クレイジーハニー」(本谷有希子演出)、2013年工場見学会2013五反田団「黒田、演劇やめるってよ」(前田司郎演出)、劇団、本谷有希子・番外公演「ぬるい毒」(吉田大八演出)など。それぞれ、役柄に関わらず作品にいろどりを添えている。またモデルとしても活動している。



藤田弓子(祖母役)

1945年生まれ、東京出身。1964年に都立城南高校卒業後、文学座付属演劇研究に入る。1967年に「カンガルー」で初舞台、1968年のNHK連続テレビ小説「あしたこそ」でヒロインデビュー。1973年から2年間フジテレビ系「小川宏ショー」のサブ司会者として朝の顔となる。NHKの「連想ゲーム」の女性チーム7代目紅組キャプテンとなりお茶の間の人気を集める。「ミス・マーブル」の吹き替えやテレビ朝日系人気番組「痛快！ビックダディ」のナレーションなど幅広く活躍。また、伊豆地域全体の芸術文化振興を目的として設立したアマチュア劇団伊豆の国市付属劇団「いず夢」の座長として地域に貢献している。



中茎強(監督)

1973年栃木県生まれ AXON所属 監督、クリエイティブディレクター。CFやミュージックビデオの演出、ロゴデザイン、ナレーションなどジャンルを超えて活動。最近では連続ドラマを初監督。人間を“優しくそして、鋭くえぐる”繊細な演出に定評がある。

【バイオグラフィー】

原宿ブックカフェ(BSフジ)総合演出、湘南乃風MV(雪月花/WICKED & WILD/STAY GOLD) AK-69MV(SPACE SHOWER MVA BEST HIP HOP VIDEO受賞) 日テレ60周年キャンペーンCF、木下工務店CFなど多数。